

さいたま市立大谷場中学校 各教科の内容と評価観点 [数 学]

教科の目標	・途中までであっても、自分なりに考え続けようとする生徒 ・結果そのものは間違いであっても、課題を追究したことに成就感を味わえる生徒 ・試行錯誤しながらも、数学的活動を楽しむことができる生徒 ・自らじっくり考え、学び方や数学的な技能を身につけている生徒 ・数学において学んだことを積極的に活用し、思考をより正確に、よりの確に、より能率的に行うことができ、社会や文化の発展に貢献できる生徒
-------	--

1 年	項目	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	評価の重点	・基礎的な知識・技能が身に付いているか(例 正の数、自然数、比例定数、変数、垂直、平行などの言葉の意味や違いを正確に理解しているか) ・例題レベルの内容が理解できるか ・問題解決の流れを理解し、問題解決できているか(例 正負の数や文字式、方程式の計算など手際よくできているか)	・色々な解決方法を考えているか ・問題解決の過程をとらえた表現ができているか(例 方程式の文章題で等しい数量の関係をよみとり、等式に表すことができるか) ・既習事項を組み合わせで応用問題を解決できるか	・積極的に授業に参加しているか(工夫した発表、内容のある発言や質問) ・工夫したノートづくりをしているか ・進んで問題集に取り組んでいるか・既習事項を使って問題の解決に当たっているか ・振り返りカードへの取り組み

	単元・教材・題材 等	学習目標・学習内容・学習活動 等	評価の方法
1 学 期	1章 正の数・負の数 ①正の数・負の数 ②正の数・負の数の計算 ③正の数・負の数の利用 2章 文字と式 ①文字を使った式 ②文字式の計算	○具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにするとともに、正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。 ○文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力をはぐくむとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。	○授業観察 (発表、発言、質問の内容) ○ノートの作り方の工夫 ○ノート観察(授業中での解法や考え方) ○問題集、宿題への取り組み方、工夫 ○自主学习ノートの内容 ○定期テスト ○小テスト ○振り返りカード

2 学 期	3 章 方程式 ①方程式 ②方程式の利用 4 章 変化と対応 ①関数 ②比例 ③反比例 ④比例、反比例の利用 5 章 平面図形 ①直線と図形 ②移動と作図 ③円とおうぎ形	○方程式について理解し、一元一次方程式を用いて考察できるようにする。 ○具体的な事象の中から2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、比例・反比例の関係について理解を深めるとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力をはぐくむ。 ○観察、操作や実験などの活動を通して、見通しをもって作図したり図形の関係について調べたりして、平面図形についての理解を深めるとともに、論理的に考察し表現する能力をはぐくむ。	○授業観察 (発表、発言、質問の内容) ○ノートの作り方の工夫 ○ノート観察(授業中での解法や考え方) ○問題集、宿題への取り組み方、工夫 ○自主学习ノートの内容 ○定期テスト ○小テスト ○振り返りカード
3 学 期	6 章 空間図形 ①立体と空間図形 ②立体の体積と表面積 7 章 データの活用 ①ヒストグラムと相対度数 ②データにもとづく確率	○観察、操作や実験などの活動を通して、空間図形についての理解を深めるとともに、図形の計量についての能力を伸ばす。 ○目標に応じて資料を収集し、コンピュータを用いるなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに注目してその資料の傾向を読み取ることができるようにする。	○授業観察 (発表、発言、質問の内容) ○ノートの作り方の工夫 ○ノート観察(授業中での解法や考え方) ○問題集、宿題への取り組み方、工夫 ○自主学习ノートの内容 ○定期テスト ○小テスト ○振り返りカード